

商品名 メロペネム点滴静注用0.5g「ケミファ」 医薬品基本情報

薬効	6139 その他の主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	一般名	メロペネム500mg注射用
英名	Meropenem	剤型	注射用
薬価	437.00	規格	500mg 1瓶
メーカー	日本ケミファ	毒劇区分	

メロペネム点滴静注用0.5g「ケミファ」の効能・効果

敗血症、リンパ管炎、リンパ節炎、深在性皮膚感染症、(外傷、熱傷、手術創)の二次感染、関節炎、肛門周囲膿瘍、骨髄炎、膿胸、肺炎、肺膿瘍、扁桃周囲膿瘍、扁桃炎、慢性呼吸器病変の二次感染、顎炎、顎骨周辺の蜂巣炎、化膿性髄膜炎、肝膿瘍、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、腎盂腎炎、全眼球炎、複雑性膀胱炎、胆管炎、胆嚢炎、中耳炎、副鼻腔炎、腹膜炎、眼内炎、発熱性好中球減少症

メロペネム点滴静注用0.5g「ケミファ」の使用制限等

- | | | |
|--|-------|--------|
| 1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、バルプロ酸ナトリウム投与中 | 記載場所 | 使用上の注意 |
| | 注意レベル | 禁止 |
| 2. 腎機能障害 | 記載場所 | 用法・用量 |
| | 注意レベル | 慎重投与 |
| 3. 類薬で過敏症の既往歴、アレルギーの家族歴、気管支喘息の家族歴、発疹の家族歴、じん麻疹の家族歴、アレルギーを起こし易い体質、気管支喘息を起こし易い体質、発疹を起こし易い体質、じん麻疹を起こし易い体質、経口摂取の不良、全身状態の悪い、非経口栄養、てんかんの既往、中枢神経障害、腎機能障害、高度肝機能障害 | 記載場所 | 使用上の注意 |
| | 注意レベル | 注意 |

メロペネム点滴静注用0.5g「ケミファ」の副作用等

- | | | |
|--|------|--------|
| 1. 劇症肝炎、皮膚粘膜眼症候群、Stevens-Johnson症候群、汎血球減少、無顆粒球症、溶血性貧血、血栓性静脈炎 | 記載場所 | 重大な副作用 |
| | 頻度 | 頻度不明 |
| 2. 肝機能障害 | 記載場所 | 重大な副作用 |
| | 頻度 | 5%未満 |

3. ショック、アナフィラキシー、呼吸困難、不快感、口内異常感、喘鳴、眩暈、便意、耳鳴、発汗、全身潮紅、血管浮腫、じん麻疹、急性腎障害、重篤な腎機能障害、黄疸、偽膜性大腸炎、血便、重篤な大腸炎、腹痛、頻回の下痢、間質性肺炎、PIE症候群、発熱、咳嗽、胸部X線異常、好酸球増多、痙攣、意識障害、中枢神経症状、中毒性表皮壊死融解症、Toxic Epidermal Necrolysis、TEN、白血球減少、血小板減少	記載場所	重大な副作用
	頻度	0.1%未満
4. 過敏症、熱感、食欲不振、ミオクローヌス、せん妄	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
5. 発疹、発熱、顆粒球減少、好酸球増多、血小板減少、血小板増多、赤血球減少、ヘモグロビン減少、AST上昇、ALT上昇、LDH上昇、ALP上昇、LAP上昇、 γ -GTP上昇、ビリルビン上昇、尿ウロビリノーゲン上昇、BUN上昇、クレアチニン上昇、下痢、血清カリウム上昇	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
6. じん麻疹、紅斑、そう痒、発赤、好塩基球増多、リンパ球増多、好中球増多、単球増多、ヘマトクリット減少、異型リンパ球出現、黄疸、コリンエステラーゼ低下、尿中 β 2-マイクログロブリン上昇、尿蛋白陽性、嘔気、嘔吐、腹痛、菌交代症、口内炎、カンジダ症、ビタミンK欠乏症状、低プロトロンビン血症、出血傾向、ビタミンB群欠乏症状、舌炎、食欲不振、神経炎、頭痛、倦怠感、不穏、血清ナトリウム低下、血清カリウム低下、CK上昇、トリグリセリド増加、胸部不快感、血中尿酸減少、血中尿酸増加、注射部位反応、注射部位炎症、注射部位疼痛、注射部位硬結	記載場所	その他の副作用
	頻度	0.1%未満
7. AST上昇、ALT上昇	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
8. 急性腎障害、重篤な腎機能障害、劇症肝炎、肝機能障害、黄疸、汎血球減少、無顆粒球症、溶血性貧血、白血球減少、血小板減少	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
9. 発疹、肝機能異常、ビタミンK欠乏症状、痙攣、意識障害、中枢神経症状、AST上昇、ALT上昇、出血傾向、一過性尿中酵素活性値増加、一過性ALP増加、一過性 γ -GTP増加、一過性NAG増加、尿細管障害像、AST活性上昇	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

メロペナム点滴静注用0.5g「ケミファ」の相互作用

- 薬剤名等：バルプロ酸ナトリウム

発現事象 血中濃度が低下してんかんの発作が再発

投与条件 -

理由・原因 -

指示 禁止



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『DIR』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.